

キリスト教保育

年主題

共に喜んで

～すべての歩みの中～

礼拝のお話

年間カリキュラム表

特集

共に喜んで

～すべての歩みの中～

新連載

保育する人々への12のエアール

石丸昌彦

ええやん！わらべうた

田中元気



2021 APR

4

しかし、イエスはすぐに彼らに声をかけて、
「しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない」と言われた。

口語訳聖書・マタイによる福音書14章27

私たちは生きていく中に、いくつかの〈不安〉を経験します。それをうまく乗り越えることができるかどうか、次のステップに進めるかどうかの鍵となります。これは、大人ばかりではなく、子どもにとっても同じです。今月の聖句(福音書の物語)は、そのようなことを考えさせてくれます。

人は言うかもしれません。「海の上を歩む? そんなことはできるものか」と。科学と合理の目から見れば、その通りかもしれません。しかし、主イエスの物語は、別の目から見る必要があります。信仰の目から見れば、いろいろと考えさせられるものが、この物語には含まれています。

〈不安〉に怯えている弟子たちに、鋭い高い声で叫べは、一層〈不安〉になると思うのです。〈不安〉に怯えていればこそ、静かに低い声で語りかける必要があるのです。高い所に登っている子どもに、急に大きな声で「危ない!」と怒鳴れば、却って落ちてしまうかもしれないと同じです。それから、主は、なぜ、すぐに舟に乗り込まれなかったのかも考えてみました。そして、もし主が急に舟に乗り込まれた場合、弟子たちは、恐怖のあまり、急に立ち上がったたり、そのために舟がひっくり返ったりしたかもしれない、とも思ったのです。

このように、〈不安〉とその克服は、私たちにとって、大切な問題ですが、子どもにとってもやはり、大きな問題です。

4月は、子どもたちが新しい経験と可能性を得る大切な時です。同時に、子どもたちにとっては、「水の上を歩む」ような不安を感じることでしょう。新しい〈不安〉を経験する時でもあると思います。

このような時、保育者は、子どもの心に急激に入り込もうとしたり、鋭い、厳しい言葉をかけたりするのは禁物です。静かな言葉で、少しずつ、子どもの心に入っていくことが望ましいわけです。そして、子どもが、はじめに感じた〈不安〉を乗り越え、保育者に対して信頼の絆が結ばれるようになれば、素晴らしいものです。その〈安定〉と〈自信〉の土台の上に、いろいろなものを築き上げていくことができるでしょう。このようなプロセスのみえる保育者になりたい、と思います。

岡本不二夫・執筆 当時・日本キリスト教団平塚教会牧師 附属平塚二葉幼稚園園長
1986年「キリスト教保育」誌4月号より

ようこそ キ保誌へ

ひとりの保育者として 子どもの前に立つとき

よろこびや希望とともに

ためらいや不安が あるかもしれません。

キ保誌を開きましょう。

ここには 新しいことばがあります。

おなじ願いをもつ仲間の 声と実践があります。

時空を超えて つながりましょう。

ともに 子どもたちの幸せを願い

未来を作り出す一歩を 踏み出しましょう。



キリスト教保育

第625号4月号

年主題

共に喜んで

～すべての歩みの中～



幼子とともにキリストへ
ようこそキ保誌へ

目次

〈巻頭言〉

「だいじょうぶ だいじょうぶ」

—そばにいてくれる絵本 関根里江

〈論説〉 社会人の仲間入り 吉村真理子

〈小論〉 子どもにとつて

大切な眠り 駒田陽子

2 3 4 6 8 16

【特集】

共に喜んで～すべての歩みの中～

年主題・年主題年聖句

年主題聖句について 後宮敬爾

年主題について 大漣知子

年間聖句表 後宮敬爾

年間カリキュラム表

19 20 22 29 30



聖書にきく・月聖句のお話 後宮敬爾

34

表紙絵 田中慎子
カット 長野祥三 長縄えいこ
中畝治子 松成真理子



【カリキュラム】

4月の月のねがい表

心にとめて 児玉純子

0・1・2歳児 和泉保育園

実践からの学び 高梨美紀

心にとめて 小出馨

3・4・5歳児 渋谷同胞幼稚園

実践からの学び 木村創

〈新連載〉保育する人々への

12のエール 石丸昌彦

〈新連載〉ええやん！わらべうた 田中元氣

私たちの園では 清水真理

図書紹介 虹釜和成・矢武弘子

子どもとまもる礼拝 赤木敏之

礼拝のお話 年間カリキュラム表

礼拝のお話 兵頭悦子

目福 口福 耳福 小倉朋子

風 吉岡康子

2021年キ保誌ご案内

連盟だより